

2022年8月期 中間決算短信（非連結）

2022年4月15日

会社名 日本ジッコウ株式会社 本社所在都道府県 兵庫県
 本社所在地 兵庫県神戸市西区南別府一丁目14番6号
 問い合わせ先 責任者役職名 常務取締役経理部長
 氏名 西村 圭三 TEL (078) 974-1388

1. 2022年8月期中間期の業績（2021年9月1日～2022年2月28日）

- (注) 1. 本中間期決算短信の数値は、未監査です。
 2. 本中間期決算短信の数値は、所要の会計上の修正を行っていません。
 3. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年中間期	3,153	(14.0)	175	(△16.7)	201	(△10.1)
2021年中間期	2,765	(12.1)	211	(△5.2)	224	(△9.4)

	中間純利益		1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%
2022年中間期	173	(△4.1)	879	06	—	27.0	8.4	6.4
2021年中間期	181	(△16.9)	748	68	—	25.5	9.4	8.1

- (注) 1. 期中平均株式数 2022年中間期 197,500株 2021年中間期 241,900株
 2. 会計処理の方法の変更 有・無
 3. 売上高、営業利益、経常利益、中間純利益におけるパーセント表示は、対前年同中間期増減率です。
 4. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
2022年中間期	2,679	724	27.1	3,670	43		
2021年中間期	2,692	793	29.5	3,281	11		

- (注) 期末発行済株式数（自己株式を含む） 2022年中間期 241,900株 2021年中間期 241,900株

2. 2022年8月期の業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年間
通期	百万円 5,280	百万円 260	百万円 120	—	—	—	—	—

（注）1. 1株当たり予想当期純利益（通期） 607円59銭

2. 当社は中間決算を行っておりませんので中間期の業績及び配当金予想は記載しておりません。

3. 上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記数値と異なる場合があります。

第48期 中間決算報告書

(2021年9月1日から2022年2月28日まで)

会社名(定款上の商号)	日本ジッコウ株式会社
英文名(英文商号)	NIPPON JIKKOU CO., LTD
代表者の役職氏名	代表取締役会長 佐藤 武司
本店の所在の場所	兵庫県神戸市西区南別府一丁目14番6号
電話番号	078-974-1388
連絡者	常務取締役経理部長 西村 圭三

I 中間期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	前中間会計期間	当中間会計期間
		自 2020年9月1日 至 2021年2月28日	自 2021年9月1日 至 2022年2月28日
I 売 上 高		2,765,075	3,153,123
II 売 上 原 価		1,968,427	2,297,933
売上総利益		796,647	855,189
III 販売費及び一般管理費		585,571	679,342
営業利益		211,076	175,847
IV 営業外収益		17,545	29,836
V 営業外費用		4,199	4,009
経常利益		224,422	201,674
VI 特別利益		-	-
VII 特別損失		0	0
税引前中間純利益		224,422	201,674
法人税、住民税及び事業税		43,315	28,059
中間純利益		181,106	173,614

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	前中間会計期間	当中間会計期間
		自 2020年9月1日 至 2021年2月28日	自 2021年9月1日 至 2022年2月28日
期中平均株式数		241,900株	197,500株
1株当たり中間純利益		748円68銭	879円06銭
潜在株式調整後1株当たり 中間純利益		—	—

※潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期 別	前中間会計期間	当中間会計期間
		自 2020年9月1日 至 2021年2月28日	自 2021年9月1日 至 2022年2月28日
防食工事関連		1,410,028	1,752,400
建設材料販売関連		1,083,721	1,108,262
混和剤関連		271,325	292,460
合計		2,765,075	3,153,123

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	前事業年度 (2021年8月31日現在)	当中間会計期間 (2022年2月28日現在)
	金 額	金 額
(資産の部)		
I 流動資産		
1. 現金及び預金	312,042	369,517
2. 受取手形	5,730	15,278
3. 電子記録債権	8,083	25,231
4. 売掛金	748,660	1,190,902
5. 商品	114,044	129,505
6. 前払費用	7,969	8,129
7. 短期貸付金	11,542	—
8. その他流動資産	550	1,061
9. 貸倒引当金	△6,192	△6,192
流動資産合計	1,202,430	1,733,434
II 固定資産		
1. 有形固定資産		
(1) 建物	157,148	160,381
(2) 構築物	551	538
(3) 車両運搬具	0	0
(4) 工具器具備品	4,308	3,724
(5) 土地	376,738	376,738
(6) リース資産	6,484	5,860
有形固定資産合計	545,231	547,243
2. 無形固定資産		
(1) 電話加入権	0	—
(2) ソフトウェア	2,093	1,716
(3) リース資産	14,373	12,413
無形固定資産合計	16,466	14,129
3. 投資その他の資産		
(1) 関係会社株式	85,000	85,000
(2) 投資有価証券	76,557	76,557
(3) 事業保険積立金	140,099	139,010
(4) 長期前払費用	14,264	20,363
(5) 敷金・差入保証金	57,674	57,933
(6) 会員権	1,350	1,350
(7) その他投資等	3,824	3,902
投資その他の資産合計	378,770	384,117
固定資産合計	940,468	945,490
繰延資産		
(1) その他繰延資産	466	416
繰延資産合計	466	416
資産合計	2,143,366	2,679,341

(単位：千円)

科 目	期 別	前事業年度 (2021年8月31日現在)	当中間会計期間 (2022年2月28日現在)
		金 額	金 額
(負債の部)			
I	流動負債		
	1. 支払手形	331,996	341,613
	2. 買掛金	256,651	477,940
	3. 短期借入金	—	139,326
	4. 1年内返済予定長期借入金	83,480	76,800
	5. 未払金	14,021	6,634
	6. 未払法人税等	12,806	28,059
	7. 未払消費税等	19,069	33,637
	8. 未払費用	42,980	39,578
	9. 預り金	20,804	4,837
	10. リース債務	5,583	5,570
	11. 賞与引当金	—	45,000
	流動負債合計	787,393	1,198,998
II	固定負債		
	1. 社債	200,000	200,000
	2. 長期借入金	350,100	314,400
	3. 退職給付引当金	26,558	26,558
	4. 役員退職慰労引当金	128,301	128,301
	5. クレーム引当金	45,392	45,392
	6. 長期未払費用	12,928	10,533
	7. 預り保証金	14,836	16,336
	8. リース債務	16,684	13,908
	固定負債合計	794,801	755,431
	負債合計	1,582,194	1,954,429
(純資産の部)			
I	株主資本		
	1. 資本金	98,000	98,000
	2. 資本剰余金		
	(1) 資本準備金	54,128	54,128
	資本剰余金合計	54,128	54,128
	3. 利益剰余金		
	(1) 利益準備金	5,321	6,309
	(2) その他利益剰余金		
	特別償却準備金	5,761	5,761
	繰越利益剰余金	517,839	680,592
	利益剰余金合計	528,922	692,662
	4. 自己株式	△119,880	△119,880
	株主資本合計	561,171	724,911
	純資産合計	561,171	724,911
	負債・純資産合計	2,143,366	2,679,341

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

項目	期別	前事業年度 (2021年8月31日現在)	当中間会計期間 (2022年2月28日現在)
	発行済株式総数		241,900株
期末自己株式数		44,400株	44,400株
1株当たり純資産額		2,841円37銭	3,670円43銭

(4) 株主資本等変動計算書

当中間会計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

(単位: 千円)

項目	株主資本						株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金			自己株式		
		資本 準備金	利益 準備金	その他 利益剰余金				
				特別償却 準備金	繰越利益 剰余金			
2021年9月1日残高	98,000	54,128	5,321	5,761	517,839	△119,880	561,171	561,171
当中間変動額								
剰余金の配当			987		△10,862		△9,875	△9,875
中間純利益					173,614		173,614	173,614
当中間変動額合計	—	—	987	—	162,752	—	163,739	163,739
2022年2月28日残高	98,000	54,128	6,309	5,761	680,592	△119,880	724,911	724,911

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

中間期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「事業報告書 注記表」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法 中間期の減価償却費は年間発生見積額の2分の1に該当する金額を計上しております。有形固定資産に関しては貸借対照表上、簿価を直接減額する直接控除方式を採用しております。
2. 貸倒引当金の計上基準 貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し回収不能額を計上しております。その他一般債権については前期末と同額を計上しております。
3. 経過勘定項目の会計処理 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、中間期報告書上、資産及び負債への計上を省略しております。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第48期中間期（2021年9月1日～2022年2月28日）の業績の概況

当中間期における日本経済は、新型コロナウイルスは未だ感染者数が高水準で推移しておりますが、ウイルス感染に配慮した上での経済活動が再開され始め、消費は徐々に回復の傾向も見られます。しかし、経済が新型コロナ感染拡大前の水準に戻るのには当分先になる可能性もあります。当社におきましては、関係者の皆様および従業員とその家族の安全を最優先に考え、細心の注意を払い事業活動の継続を図ってまいります。

当社グループが専門とするコンクリートの補改修市場については、新型コロナの影響は比較的、限定的でした。感染症の状況を注視しながら、従前からの課題である、インフラの維持管理、コンクリート施設の長寿命化対策、点検・診断作業の省力化を実現する技術改革、就業者の高齢化の問題等に取り組み、市場ニーズに対応してまいります。

当中間期に関しましては、主力の公共水施設関連の防食工事受注に加え、ジックボード工法による人孔工事や橋梁の防食工事など、新たに手掛けてきたことが実を結び始め、売上高は防食工事関連で1,752,400千円（前年同期比24.3%増）と成長することができました。建設材料販売関連の売上高は、1,108,262千円（前年同期比2.3%増）となりました。ジックボード関連商品が好調に拡大し、B to Cの販路拡大を目的としたWEB通販サイトの「建索ショップ」も着実に購買客数を増やしております。混和剤関連の売上高は、生コンに使用する高機能薬剤の販売が関西圏、及び四国を中心に堅実に推移し、292,460千円（前年同期比7.8%増）となりました。

以上の結果、当中間期は、売上高3,153,123千円（前年同期比14.0%増）、営業利益175,847千円（前年同期比16.7%減）、経常利益201,674千円（前年同期比10.1%減）、中間期純利益173,614千円（前年同期比4.1%減）となりました。

III 第48期（2021年9月1日～2022年8月31日）の売上高及び利益の予測について

（単位：千円）

科 目	期 別	第47期(実績)	第48期(計画)
		自2020年9月1日 至2021年8月31日	自2021年9月1日 至2022年8月31日
売 上 高		4,796,554	5,280,000
経 常 利 益		221,011	260,000
当 期 純 利 益		97,633	120,000

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

期 別 項 目	当中間会計期間 自:2021年9月1日 至:2022年2月28日
現金及び預金の増減額	57,475
現金及び預金の中間期首残高	312,042
現金及び預金の中間期末残高	369,517

(主な増減理由) 運転資金の借入によるものであります。

(2) 長期借入金の増減

(単位：千円)

期 別 項 目	当中間会計期間 自:2021年9月1日 至:2022年2月28日
長期借入金の増減額	△42,380
長期借入金の中間期首残高	433,580
長期借入金の中間期末残高	391,200

(主な増減理由) 借入の返済によるものであります。

(注) 長期借入金は、1年内返済予定長期借入金を含んでおります。

(3) 短期借入金の増減

(単位：千円)

期 別 項 目	当中間会計期間 自:2021年9月1日 至:2022年2月28日
短期借入金の増減額	139,326
短期借入金の中間期首残高	—
短期借入金の中間期末残高	139,326

(主な増減理由) 運転資金の借入によるものであります。

V その他

該当事項はありません。